かかしまで 数えてしまい 園児増

あじさい組とさくら組の４・５歳児で出かけたのは “関津かかし村”。ユニークなキャラクターや立ち姿がたくさんありました。



OF THE KIDZ, BY THE KIDZ, FOR THE KIDZ

PEPPIE'S PAGES

TANAKAMI KINDERGARTEN 2026

大津市立田上幼稚園
令和８年 11 月 13 日
保育主任通信　松尾 誠史
page_47



様々なかかしの様子が子どもたちも面白かったようで、どんなストーリーがあるのか、なぜこんなポーズをしているのかなど、それぞれが考えたり感じたりしているようでした。

みんなで一緒に
かかしのポーズ

これってお米を
作る機会かなぁ？？





地域に愛されている

田上の田畑、山、空、風、緑も空気もすべて感じられる遠足になったはずです。季節をこえて、色や景色が移り変わるこの土地は本当に素敵ですね。

歩こうウイークも始まりました。春夏秋冬も子どもたちが体得できるよう、体調に合わせ、登降園やお出掛けで、歩く機会も一緒に作っていきましょう。



「これってお米のかわかなぁ？」「いっせーのーで！！」

トム君はお腹がいっぱい
なのか何も食べてくれな
かったけど…可愛い





格好いい 背中を真似て バチを持つ

さくら組はいつも後ろからあこがれて見ていたあじさい組の太鼓。あじさい組はバチを持たせてあげて、鳴らし方を教えてくれています。



OF THE KIDZ, BY THE KIDZ, FOR THE KIDZ
PEPPIE'S PAGES
TANAKAMI KINDERGARTEN 2026

大津市立田上幼稚園
令和８年 11 月 ６日
保育主任通信　松尾 誠史



「あんまり力を入れすぎないで、こうやって持つんだよ」

心も体も一回り大きくなったあじさい組が、本当にたくましく、心温まるひとときでした。

「こうしてあげて」とは言っていないのですが、毎年、自然と二人羽織のようになるのは不思議です。きっとたたく感覚を伝える方法として、最も的確なのでしょう。経験しているからこそ、生み出せるのでしょうね。





自己肯定感の芽生え

あじさい組にとって、「自分はこれをできるんだ」「頼られているんだ」という大きな自信（自己肯定感）があふれています。また「してあげる幸せ」を深く感じている５歳児です。

５年前、田上幼稚園で園長を務めていた、故・玉置ゆり先生は、私たち職員に「３つの幸せ」の話をしてくださいました。

それは
「してもらう幸せ」
「できるようになる幸せ」
「してあげる幸せ」なのよ、と。

そして３つ目の「してあげる幸せ」が最も深くて大きい幸せ。そのために、１つ目と２つ目をたくさん感じさせてあげてね、と。当時、そのように職員室で仰っていたのを憶えています。

力強さややさしさが、空まで響くといいなと願っています。



「そう、ここ！このまんなかをたたくと、いい音が出るんやで」



「運んだりするときは、ゆっくり丁寧に、やさしくするんやで」

鮮やかに 揺れるバンダナ 地域の「わ」



運動会で使用するハチマキをナスで染めた経験のある５歳児。今回も本格的な草木染めを体験しました。



Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 11 月 ５日
保育主任通信　松尾 誠史



今年度も草木染めの活動を行いました。例年のマリーゴールド、どんぐりの殻斗（ぼうし）、玉ねぎの皮を使用し、今回は新たにアボカドの種と皮、にんじん、しそで染めてみることに。

５歳児中心の活動ですが、３・４歳児も少し入れてもらいながら行いました。地域の方々や保護者有志の皆様が奔走・協力していただいたおかげでとてもワクワクする活動となりました。





立ち込める湯気と、普段嗅いだことのないような独特の草木の香りに子どもたちは驚いていましたが、出来上がったものを見ると大感動でした。

身近にある自然や、普段は捨ててしまうようなものを使って、美しい色に変身する感動を、参加者みんなが味わうことができました。

長年お世話になっている地域の皆様、保護者・保護者ＯＧの皆様、ありがとうございました。これからもともに、子どもたちのために、感動できる体験をよろしくお願いいたします。



看板に 願いを込めて おおきくなあれ

５ 歳児は畑で、３・４歳児は園庭の一角で育てている大根はお日さまの光をたくさん浴びて、すくすくと大きくなってきています。



Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 11 月 ４日
保育主任通信　松尾 誠史



大根に集まるバッタやダンゴムシ、そして、アオムシ。「葉っぱを食べないでね」と思いをはせ、さくら組で「大根が大きくなってきたね」と話をすると、「看板を作ろう」という話になり、ひとりの子が描いてくれた看板のデザインに驚きました。

だいこんの「だ」の濁音部がだいこんになっています。よくもまあ、そんなことを思いつくものだと、感激して、尋ねてみました。すると、「最近、何かで見た文字の点々が、ハートでできてたから」と教えてくれました。



なぜ看板やしるしがあるとよいのか

店舗の看板は集客のため、立ち入り禁止の看板は安全のため、では、そもそも、農作物や花などに子どもが看板を作り立てることに何の意味があるというのでしょう。



看板に 願いを込める

植物を慈しむ気持ちや大切にしているよという思いをマークや絵や文字で表現しています。

また、自分と育てている大根をつなぐきっかけの一つにもなりますね。

たかが看板、されど看板

正直、看板を作っても作らなくても、農作物の生長はそんなに変わりません。しかし、私たちが育てたいのは大根ではなく、子どもたちの心です。そう考えると、看板を作って思いを寄せたり、大切に関わったりしていくと、家族と味わう大根の味は変わるかもしれませんね。





三四五　肩寄せ合って　芋をもつ



春に植えたサツマイモの苗は、酷暑もあってか、いくつか枯れてしまったものの、土の中でたくさんみんなに掘ってもらえるのを待っていたようです。

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 11 月 ２日
保育主任通信　松尾 誠史





全部で８９本のさつまいもが採れたそうです。（５歳児曰く）

折れないようにまわりの土を掻きながら取ったり、細さや太さ・大きさや形に驚嘆したりしながら楽しんでいました。



掘った後のツルでも、縄跳びをしたり、おうちにしたり、まとったり、ぶらさがったり、散々楽しみ、笑顔があふれる一日でした。

やっぱり毎秋、お芋ほりは楽しい行事。ぜひ来年もやりましょう！



田上幼稚園のカラー帽子の色は 3 年保育が始まった 2018 年、当時のスタッフで決めました。「黄色と黄緑に一色足すなら何色がいいかな？」と職員で考えました。園長先生が「菜の花の黄色」「野山の黄緑」そこには、「あたたかさと元気のある橙色が合うんじゃないか」と、この三色に。

こうして見ると、秋の野山や木々にもとてもマッチしていますよね。

花々の生長も嬉しいが…

パンジーの花の苗を植えました。

植木鉢いっぱいに土を入れて。すると動かすのにも一苦労。

すごく重くて困っています。



Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 10月 29日
保育主任通信　松尾 誠史



こんな重かったっけ？

そうだ！春の夏野菜は、おうちの人と一緒に植えたんだった。

すると、子どもたちから助け合う姿が生まれていました。

素敵ですね。花の生長も楽しみですが、みんなのこんな成長が嬉しい。こちらが本当に私たちの願う姿です。

優しい気持ちで植えられた花はきっと可憐に咲くでしょうね。パンジーはどの色が咲くか、お楽しみにしています。



さて、５歳児はと言えば、ラナンキュラスとムスカリの球根を植えました。数日経つと、小さな芽が土から頭を出しています。

子どもたちはお互いの芽を見合い「〇〇ちゃんのも出てる！」と歓んだり、“指くらい大きくなったかなぁ”なんて、せいくらべをする姿も📐

これから寒い冬をまたぎ、毎日見守って、あたたかくなる頃、またきれいな花にも出会えるでしょうか。





無限大の発想と可能性！

園庭には運動会の遊びを、まだ、ちらほら残しています。するとペダルローラーをやりたいと思うさくら組。



Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 10月 23日
保育主任通信　松尾 誠史
page_41



あじさい組が取り組んでいた姿は知っている。立ってするのも分かっている。でも、ちょっと怖いんだよ…。

なーんか、
たのしそうやな

「じゃあ座ったらいいんじゃないか」と思いついてやってみたら意外と楽しい。

しかも、S先生が「見たことない！お座敷ペダルローラーやん！面白そう！」って言ってくれて余計に楽しい。

ペダルローラーのポテンシャルを引き出した第１号は僕だ！



鉄棒にぶら下がって見つめ合う子どもたち。どちらが長いことぶら下がっていられるかという遊びに加え、にらめっこでもって、笑わせて相手を落とそうとする種目となっています。

Ｓ先生も一緒にやってみるものの、身軽な子どもたちには、到底敵わず、爆笑しながら安全に落下していました。楽しみながら、笑い合いながら腕や足で体を支える力が育まれていく、そんなひとときでした。おうちの方も是非一緒に！





「笑顔が止まらない♪踊るココロ止まらない♪動き出すよ君の元へ　走れ！走れ！走れ～！」とＢＧＭに合わせて歌いながら、トラックを駆け抜ける３学年の姿がとても温かいひとコマでした。



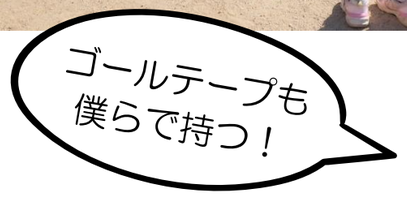
Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 10月　21日
保育主任通信　松尾 誠史
page_40



４・５歳児でバトンをつないだ運動会のリレー。終えてからは３歳児の「やってみたい」も刺激したようです。





これまでのチームや順番にこだわることなく、どんなチームでも、順番でも、バトンの数でさえも何でもアリにして、３歳児にやさしく教えてあげる姿。運動会の余韻や、その後の育ちが見えはじめた瞬間でした。



先日は、温かい拍手とたくさんの「パワーチャージ」をありがとうございました。少人数・小規模の特性・特色を新スタイルで取り組んだ令和８ 年度の「すきすきみっけ☆にこわくうんどうかい」。保護者の皆様が子どもたちのために、同じ目線で全力で参加してくださったり、準備・片付けに奔走してくださったりしたお陰で、温かい熱気に包まれた一日となりました。

このような姿を見ていると、「運動会は当日で終わりではない」というように思わされます。本当に素敵なドラマはすでに翌日から始まっているのかもしれません。

学年の壁を越えて刺激し合い、支え合い、遊びを模倣し、主体的に発展させていく姿こそ、田上幼稚園が目指す「やってみたい☆子どもの未来☆無限大∞」の形です。これからも日々高まる意欲を大切に、無限の可能性を育んでいきましょう。



みんなのまわりにも街にも園庭にも秋が訪れています。

名前もまだ知らない枯れ葉を集める道具で、落ち葉をかき集めています。

やきいものために🍠🍠🍠🍠…。

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 10月 19日
保育主任通信　松尾 誠史





使うたびに少しずつ扱い方が上手くなってきました。

「ここよりもあっちの方がたくさんある！」と、ポイントを変え、色々なところから落ち葉を集めます。

ダンボール箱を三輪車にジョイントし、三輪貨物カーに変身させると、嬉しそうに漕いでいました。これも運動になる？？



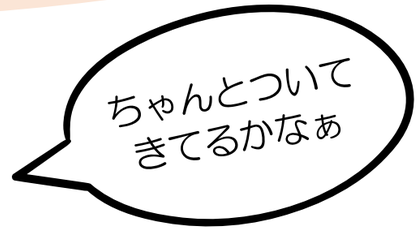






初めは１つのダンボールだったのですが、「これ（熊手）も一緒に運びたい」ということで、箱を２つつなげたり、「喉が渇いたから水筒も運びたい」と、箱が３つに増えたりして、園庭を駆け回ります。





枯れ葉が増えたり、貨物が増えたりすると、重たくってなかなか漕ぐのが難しくなります。

それでも降りない子どもたちの姿を見ると、やっぱり“遊び”が楽しいんだなと感じました。





リレーの作戦会議中

令和８年度の運動会。４・５歳児が考えたテーマは

すきすきみっけ にこわくうんどうかい　です。

日頃から自分の興味・関心、魅力的なものを追いかける生き生きとした田上 KIDS たち。

運動会で「主体的」「協働的」に探求し、充実感と満足感を積み重ねて、彼らが成長するきっかけになることを願っています。

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 10月 13日
保育主任通信　松尾 誠史
page_38



これまで、運動会について職員で話し合ってきました。一番大切にしたいのは「やってみたい」という子どもの“意欲”。そして期待したい彼らの“未来”。令和８年度の「８」を横にすると「∞（無限大）」。そこで職員テーマを

「やってみたい☆子どもの未来☆無限大∞」

としました。このテーマのきっかけは運動会ではありますが、我々は他の活動にも通じるものと思っています。また、運動会は一人一人のこれまでが生かされ、これからがますます豊かになるための「通過点」であると考えています。

そのために子どもをまんなかに据えて「面白い」「楽しかった」という思い出となるように職員８名各々が関わらせていただきます。

各クラスの学級通信でも、運動会の取り組みについてお伝えいたします。こちらでも、全体（全学年・合同種目）での活動のみどころを簡単に紹介させていただきます。

かけっこ

今年は３・４歳児だけでなく、５歳児も先陣を切って走ります。雲のトンネルをくぐったり、跳び越えたりしてエネルギーを全開にチャージして築山の頂上を目指します。

（これまでの「走る」に、「くぐる」「跳び越える」「登る」「降りる」という運動の要素を加えています。少しの抵抗感が、心地よい達成感につながります。）

運動遊び



３・４歳児は２学期から虹の妖精との出会いがありました。そんなファンタジーの世界の中で、よじ登ったり、バランスをとって渡ったり、様々な体の動きをして楽しんできました。

１学期から色々な遊具を中心に関わってきた５歳児は、２学期に入ってからも自分でコツコツ取り組んだり、友達と工夫したり考えたりすることを繰り返してきました。一人一人が、一皮むけて成長した「以前の私から生まれ変わった私」です。

リズム

３・４歳児が一緒に取り組むリズム、全学年でのバルーン、５歳児のリズムをメドレーで行います。それぞれの可愛さや精悍さにご注目ください。



玉投げ遊び

今、子どもの「投げる力」の低下は全国的な課題となっています。

園では「楽しみながら」「夢中になって」「繰り返して何度も」投げる経験をしてほしいという願いから、新種目を企画しました。流れ星（新聞ボール）を無限にポイポイ投げ合います。空を埋め尽くす虹の流星の絶景をお楽しみください。

リレー

今年度は４・５歳児でチームを作り、取り組んできました。取組当初は、バトンをもらう時にチームが負けていると、コースを外れて土手まで走っていってリレーが中断したことも懐かしい思い出です。みんな、走りも気持ちも強くなってきています。明日も素敵な姿を見せてほしいですね。





今年度はこれまでの運動会の形にとらわれず、プログラムや取り組み方のアップデートを行っています。

「少人数の学級だからこそ、一人一人にスポットが当たるように…」
「“待ち時間”を減らし、運動量を上げ、みんなが何度も主役になれる」
そんな運動会を目指しています。

全学年の運動遊びについて

実は小学校１・２年生の体育の学習指導要領にはあらゆる活動が、「〇〇遊び」と記されています。３年生以降に、「器械運動」「陸上運動」等の競技へとステップアップしていきます。つまり、跳び箱の開脚跳びや鉄棒の逆上がりが求められるのは小学校３年生というわけです。











では幼稚園においては何を大切にしたいか。それは、「体を動かすことが楽しい」「好きだ！」と一人一人に感じてもらうことです。その原体験を十分に保障することが、生涯にわたって運動に親しむ基礎になると考えています。もちろん、勝敗や技術も大切ですし、「できた・できない」もモチベーションにつながります。ただ、誰かと比較し、結果にフォーカスするばかりではなく、本人が充足感や歓びをたくさん積み上げられるように、プロセスや意識や工夫や意欲や存在を認め、一人一人の心に響く言葉掛けや関わりを私たちは心掛けています。



小学校の
鉄棒、めっちゃ
高いやん！

抱っこしてもらって、
やっとつかめる高さ☆

田上幼稚園から歩いて小学校までおでかけ。田上保育園の友達と一緒に、田上小学校の校庭で遊ばせてもらいました。そして、５・６年生のかっこいい姿に憧れる僕たち。やっぱり小学生のみんなはスゴイわ！

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 10月 ８日
保育主任通信　松尾 誠史





保育園１２人とのリレー対決☆も
幼と保の Mix チームでの対決☆も
小学校で走って、楽しかったね。



いぇーい。
ありがとう！
また遊ぼう！

速かったやん。
っていうか、
僕ら、靴のマーク
似てるなあ！



またいつか、このグランドで一緒に走る日が来るんだろうな。そんなきっかけの一つに、小学校の見学ができたことをうれしく思っています。

５･６年生のお兄さん･お姉さんたちに あこがれながら やってみました



こんな感じ？

見よう見まねでやってみました。
さて、何点いただけますか？



これでしょ？



こうでしょ？

脚をまっすぐ
上？難しい！



え？なに？
どうすんの？

やはり、体の使い方、体幹、筋力、姿勢、表現力、俊敏な移動、仲間との息の合わせ方など、５・６年生はすごくかっこよかったです。

先生、もうね、手がね、見て。
跡がつくくらいすごく痛いの。

さっき、小学校の先生が、本番は
裸足でやるって言ってはったで。

えー！！
すごすぎるでしょ…



こうですか？
あってる？



ぼくの新しい相棒

園庭でダンスをしている５歳児を、そばで子どもたちと応援していました。さて、踊るひとりの目線に、お気付きになりますか？

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 ９月 30 日
保育主任通信　松尾 誠史





そうなんです。おひさまがつくりだす「自らの影」を見ながら、しなやかに体を動かしているのです。

自分の手足の動きや、躍動感をそのまま映し出してくれる影。
鏡になるようなその面白さに、改めて気付いた瞬間でしょうか。



あれ？なんだか手をつないでいるみたい？

自分が手を挙げても、跳んでも、首をかしげても、100%リアルタイムで地面に投影される面白さに完全に心を奪われている一瞬。ある意味、パーフェクトな自己確認の手段だったに違いありません。

また、これをきっかけに、ダンスにより“意欲的”“主体的”に参加していたのでしょう。“影と踊るのも楽しいじゃん”“影にも上手に踊ってほしい”と自分なりの動機が生まれていた数分だったのかもしれません。

キメポーズは
みんなに
向けて★





秋っぽくなってきた

畑にとっても大きいかぼちゃができたんだって！来てみて持ってみたけど、すっごく重い！とんでもない大きさです

大津市立田上幼稚園
令和８年 ９月 29 日
保育主任通信　松尾 誠史

Peppie's Pages






つかみどころのない形は、転がして持っていくしかないようです。そんな折、写真にはありませんが、１人の３歳児は砂場用の一輪車で運ぶのでした◎

天高く馬肥ゆる秋



４月から毎日続けている朝のマラソンとダンスの数十分（のびのびタイム）。今日はダンスの後に、築山までかけっこ。そしてジャングルジムに ３ 学年で登って職員室に向かって全力の「ヤッホー！！」



３・４歳児で一緒に蒔いた大根の種も芽を出し、一人ひとりが毎朝、気にかけて見守っています。




もう
おだんご
食べてもいーい？

今日はお月見の日。乾いた園庭に水を運び、たくさん月見団子をこしらえました。

すすき（のような細長い草）を立て飾り、友達や先生と一緒に楽しむ月見ごっこ。

今晩の月もきれいにみられるといいですね。



廊下の一角には秋の味覚の折り紙。実は、田上幼稚園には、折り紙名人のスタッフがいるのです。



いっせーのーで！

　声を掛け合いながら鉄棒に飛びつき、タイミングを合わせて回ったりしてみています。
　友達と一緒が楽しいんだよね♪

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 ９月 28 日
保育主任通信　松尾 誠史

　向きを変えてみたり、並びを変えてみたり、フォーメーションや技の名前も考えながら、繰り返し取り組んでいました。一人でコツコツ高めていくのも達成感や充実感があるものです。それにこうして、

・友達（仲間）と呼吸を合わせたり、
・工夫を考えて伝えあったり、
・お互いのよさに気付けたり することもいいですね。

　これから、この鉄棒トリオにメンバーが増えたり、新しい刺激を与え合える何かがあったり、友達の輪が広がっていくといいなと願っています。



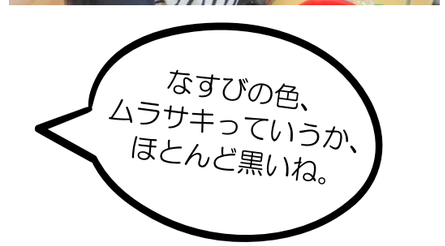


♪どんな色になる？









　たなかみ太鼓でみんなが締めるハチマキを、園の畑でとれたナスビの煮汁で草木染めをしている５歳児たち。（興味津々の４歳児も覗きに来ています。）
　一人一人が自分でビー玉や輪ゴムで模様をつけた布を入れていきます。濃いムラサキの煮汁に“ミョウバン”を入れたものと、“クエン酸”を入れたものでは、仕上がりの色が違うそうです。
　さて、どんな色や模様になったのでしょうか…。



おさかなさーん、おーい！

　全園児でバスに乗って琵琶湖博物館まで出かけた園外保育。
　たくさんの魚たちや、さまざまな生き物たちに目を奪われます。

Peppie's Pages

大津市立田上幼稚園
令和８年 ９月 25 日
保育主任通信　松尾 誠史

　初めて来る人も、１ 回来たことある人も、何度も訪れている人も、やはりこの水槽は大好きになるのでしょう。周囲の方に少々ご迷惑をおかけしながら、子どもたちはしばらく立ち止まって魚を眺めていました。
　まるで湖の中の世界に招かれたような空間でした。
　琵琶湖の宝物がたくさん詰まった博物館に、またよかったら、ご家族でもお出掛けしてみてくださいね。

見たことない魚も
いっぱいいるわー。



ごつごつしてる。
触ってみて！





　おにぎりを食べた後も、すぐ再入場！時間たっぷり“びわはく”を堪能しました。早めの登園へのご協力もありがとうございました！





外のミスト
シャワーも
気持ちよかった
です！